

名稱

戸ニ遷シ給ヒテ之ヲ東京ト稱ス、

〔令義解九〕喪葬凡皇都所謂天子所居也

〔日本書紀三〕神武己未年三月丁卯下令曰略中誠宜恢廓皇都規摹大壯○下

〔文選二十〕應詔詩一首 四言

曹子建

肅承明詔應會皇都略下

〔類聚名義抄六〕都旦胡反ミヤコ 鄧達互反

〔伊呂波字類抄見儀〕都ミヤコ天子所宮

〔廣韻上平聲一〕都當孤切都猶摠也中略帝

〔說文六下〕都有先君之舊宗廟曰都從邑

〔運步色葉集見都〕武人皇廿九代宣化天皇御宇大和國立之同卅九代天智天皇御宇近江國立之文

十代桓武天皇御宇延暦十三年甲戌遷山城國平安城也至天文十七戊申八百八十二年也同五十五年也聖武天皇天曆十六甲申遷都於難波至天文十七八百五十年也

〔日本釋名地理〕都 宮どころ也帝王の宮ある所也所の字上下を略せり、

〔東雅地輿〕都ミヤコ ミヤとは宮也コは古語にコといひカといひしは所也天皇宮居し給ふ所

をいふ事大宮處などいふが如し京の字讀事も亦同じ城の字讀てミヤコといふは皇城京城な

どいふの義也略下

〔倭訓栞前編三十〕みやこ 都をいふ日本紀に京万葉集に京師をよみ又華をよめり宮所の義也

といへり菅家萬葉集に城をよめり朱雀門より羅城門まで大道を開かれて此大道の東の方を

東のみやこといふ左京洛陽などいふ是也西の方を西のみやこといふ右京又長安といふ是也

稱德紀の歌に爾詩乃美也古波與呂豆與乃美也と見えたり、

〔萬葉集三挽歌〕七年乙亥天 大伴坂上郎女悲嘆尼理願死去作歌一首并短歌